



【映画スクラップ】のアーカイバル容器(保存箱)を作る
公益財団法人松竹大谷図書館、クラウドファンディング「Readyfor」にて
「【第6弾】歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。」プロジェクトを、
9月5日(火)開始

公益財団法人 松竹大谷図書館（東京都中央区）は、同図書館運営及び所蔵資料のアーカイバル容器（保存箱）制作のための資金調達を目的とした「【第6弾】歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。」プロジェクトを、本日9月5日よりREADYFOR株式会社（東京都文京区、代表取締役：米良はるか、樋浦直樹）が運営するクラウドファンディング「Readyfor」にて開始いたします。

公益財団法人松竹大谷図書館は、昭和33[1958]年に開館した演劇・映画専門の私立図書館で、歌舞伎やその他の演劇、映画に関する、台本、プログラム、写真、文献、雑誌、などの資料を無料で一般公開しています。松竹が手掛けた興行関連資料から他社の資料まで、総数約46万点を幅広く収蔵し、利用者へのサービスに努めています。なかでも、松竹の映画作品について公開当時の新聞や雑誌に掲載された紹介記事などが、作品ごとに松竹の映画宣伝部によって貼り込まれた【映画スクラップ】約4,000冊は、松竹大谷図書館にしかない資料です。紹介記事以外にも、撮影時のスナップ写真や宣伝材料が貼り込まれたものもあり、撮影当時の様子を伺うことができる貴重な資料です。

しかし、特に昭和20[1945]年～41[1966]年のスクラップブック約1,800冊は紙が弱っており、紙片が剥がれ落ちたり、資料そのものがたわんだりするなど、劣化が進行しています。そこで、【映画スクラップ】専用のアーカイバル容器(保存箱)を作り、これ以上破損が進まないよう、できる限りよい状態で末永く保存していきたいと考えています。



『麥秋』(1951年、松竹大船、小津安二郎監督作品)のスクラップに貼り込まれた当時の広告記事

【第6弾プロジェクト概要】

プロジェクト名：「【第6弾】歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。」

(<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan6>)

- 募集期間 平成29年9月5日(火)～10月25日(水)【50日間】
- 実行者 松竹大谷図書館事務局 武藤祥子
- 目標金額 250万円(図書館の平成29年度運営資金：160万円／【映画スクラップ】を保護するアーカイバル容器の制作費用：90万円)
- 募集金額設定 一口 3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円
- リターン 支援金額に応じて趣向を凝らしたリターンがプラスされます。

- 【3,000円～】松竹大谷図書館HPにお名前記載
- 【5,000円～】当プロジェクト限定 歌舞伎台本『助六由縁江戸桜』と映画台本『東京物語』の表紙デザインの文庫本カバー
- 【10,000円～】所蔵する台本(歌舞伎・映画)のうち、200タイトルの中から支援者にお好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)に支援者のお名前を載せる権利
- 【30,000円～】浄瑠璃正本「新うすゆき物語」、組上燈籠絵「め組のけんか」のデザインのオリジナル文庫本カバー
- 【50,000円～】松竹大谷図書館見学会にご招待



「歌舞伎台本」文庫本カバー[左]
「映画台本」文庫本カバー[右]
※大きい方は本物の台本
文庫本カバーは見本

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトで集める支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、寄付者への税制の優遇措置は受けられません。

【【映画スクラップ】を保護するアーカイバル容器について】

アーカイバル容器とは、長期間保存し活用していく資料をできるかぎり良い状態で維持するための「いれもの」です。

■戦前から昭和27[1952]年までの【映画スクラップ】233冊は、特に劣化が進んでいるため、1冊ずつ「タトウ式保存箱」というオーダーメイドのアーカイバル容器に入れ、これ以上破損が進まないようにしていきます。しっかりとした厚みのあるアーカイバル容器に入れる事で、書架に立てても自重で破損が進む事を防ぎ、埃や、温度・湿度の変化、光や大気中の酸性ガスといった様々な劣化要因から資料を保護し劣化の進行を抑えることができます。



■昭和28[1953]年から昭和41[1966]年までの【映画スクラップ】1,596冊は、書架1段につき1個ずつ、オーダーメイドのアーカイバル容器「組み立て式棚はめ込み箱」を仕組み、各箱の中に約30冊ずつ保管し、書庫のスペースを考慮しながら、保護していきます。

今回は株式会社資料保存器材さんに、アーカイバル容器の制作をお願いします。

株式会社資料保存器材 URL: <http://www.hozon.co.jp/> Tel: 03(5976)5461

【松竹大谷図書館、これまでのクラウドファンディング】

本図書館は常に財政が厳しく、平成24年、専門図書館としては初めて、運営資金を募集するためのクラウドファンディングプロジェクトを「Readyfor」で実行しました。以来、昨年まで合わせて5回のプロジェクトを実行し、いずれも目標金額を達成し、これまでに累計で約1,500万円の資金調達に成功しています。

1) 「歌舞伎や『寅さん』、大切な日本の文化の宝箱を守る。」

■募集期間 平成24年9月3日(月)～10月23日(火)

■目標金額 200万円(図書館の運営資金) / ■結果 272名から357万9千円の支援金

2) 「【第2弾】歌舞伎や映画、大切な日本の文化を次世代に残す。」

■募集期間 平成25年9月18日(水)～11月6日(水)

■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 243名から291万円の支援金。

大正14年[1925]創刊の映画雑誌『蒲田週報』の合本を解体し、修復・デジタル化に成功。

3) 「【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。」

■募集期間 平成26年9月9日(火)～10月29日(水)

■目標金額 280万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 263名から296万5千円の支援金。

5千枚以上の「芝居番付」のデジタルアーカイブ化を完了。検索閲覧システムを公開。

4) 「【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。」

■募集期間 平成27年9月8日(火)～10月28日(水)

■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 238名から287万8千円の支援金。

「GHQ検閲歌舞伎台本」400冊のデジタルアーカイブ化を完了。検索閲覧システムを公開。

5) 「【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。」

■募集期間 平成28年9月6日(火)～10月26日(水)

■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化及び復刻版制作資金) / ■結果 164名から278万円の支援金。

「組上燈籠絵」161枚のデジタルアーカイブ化を推進中、厳選3作品の復刻版制作を完了。



組上燈籠絵『石橋』(明治26年)
人物部分【拡大】

【松竹大谷図書館について】

公益財団法人松竹大谷図書館は、松竹株式会社の創立者の一人、大谷竹次郎が昭和30年に文化勲章を受章したのを記念して、演劇、映画に関する貴重な資料を後世に残し、一般に公開したいという想いで設立した、演劇・映画の専門図書館です。演劇(歌舞伎・文楽・新派・商業演劇を中心に)、映画、日本舞踊、テレビに関する書籍、雑誌、台本、写真、プログラム、ポスターなどの資料を収蔵し、その資料数は約46万余点に及んでいます。

○名称: 公益財団法人松竹大谷図書館(昭和31年12月26日設立)

○住所: 〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

○電話: 03(5550)1694

○開館時間: 平日午前10:00～午後5:00

○休館日: 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日

URL: <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



松竹大谷図書館の閲覧室